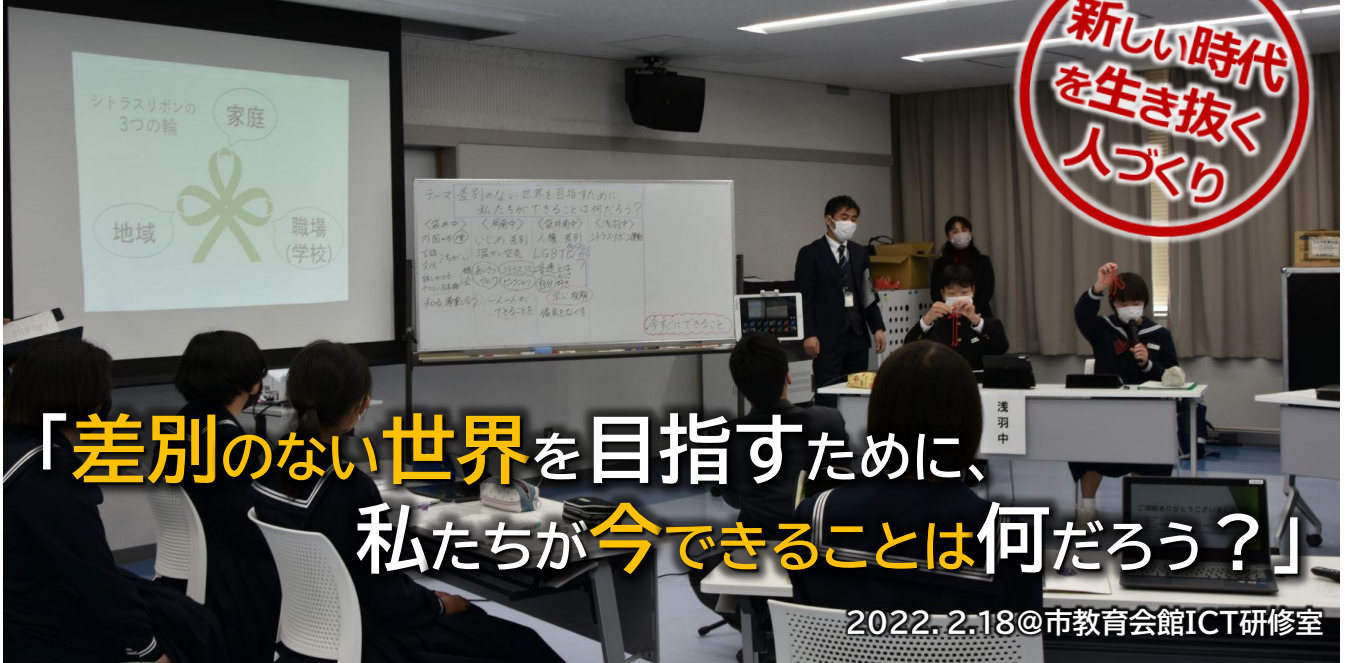


一緒に始めませんか、あなたの挑戦も応援します！ ～共に創る これからのふくろい～

発行日：令和4年3月2日
発行者：袋井市総合戦略課

中学生未来会議

各中学校の代表生徒がいじめや人権、偏見などについて考え、市長や教育長、教育委員らと協議しました



「差別のない世界を目指すために、私たちが今できることは何だろう？」

2022.2.18@市教育会館ICT研修室



今回のテーマを、以下のような流れで中学生が意見を整理して発表しました

(STEP1)

「差別のない世界を目指すために、私たちが今できることはなにか」まずは、一人ひとりが自分なりに感じることを考えてみました。

(STEP2)

次に、友達の発表などを聞いて、自分の最初の考えを整理してみました。

(STEP3)

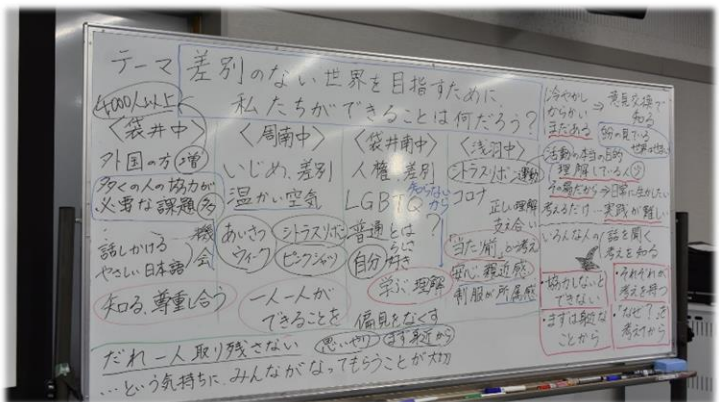
最後に、一緒に話し合ったみんなが納得できる考えをまとめました。



代表者が「中学生未来会議」で発表し、大人たちと協議



大場市長も加わってグループディスカッション



<今回のテーマ>

『差別のない世界を目指すために、私たちが今できることは何だろう？』

<設定の理由>

子どもたちの日常生活の中で、いじめやコロナ差別は、身近な人権問題として存在している。

また、最近ではLGBTへの差別など、新たな人権問題が生じている。このような中で、これからの社会を生きていく子どもたちには、再度、人権の意義や内容を理解するとともに、自他の大切さを認め、それが態度や行動として現れるような人権感覚を育成していく必要がある。そこで、SDGsの17の目標のうちの1つを生かしたテーマを取り上げて協議する活動を通して、子どもたちが、「自分には何ができるのか」「社会みんなで取り組むことは何か」を考え、自ら1歩を踏み出していく機会を創出する。

(参考) 生徒たちが会議で発表した資料 ~抜粋~

課題

外国の方が安心して暮らせるように

袋井市立袋井中学校 2年代表 杉田真帆
金城マコミ
中島 優



Hello from Fukuroi
ふくろいまるごと
インターナショナル



【課題設定の理由】

袋井市でも様々な国から来た外国の方がいる。そして、その人数はこれからも増えていく。私達の身近な学校にも外国の生徒がいることから、自分たちの外国の方に対しての、対応の仕方考えないといけないと思った。



私たちの課題に関わっているSDGs



外国人と日本人の違いがあるのはあたりまえ



みんなで力を合わせないとこの課題は解決できない



【私たちが考える外国人の方が困っていること】
①言語の違い ②文化の違い ③差別を受けること



差別をなくし、みんなが平和に暮らしていくことが大切だから

【課題】言語の違いによるもの



・思っていることを伝えられない

・コミュニケーションがとれない

・何を言っているのかわからない



知ってる？

・食文化→マナーなど



・施設のの違い



【課題】文化によるもの

・交通ルール



・お金の違い

【解決策①】「日本語で話しかける」
日本に住む外国の方に一番わかるのは、実は日本語！私たちが全ての言語を使うことは難しい。彼らが共通して学習している日本語なら私たちでも使える！そして日本語習得のために、日本語での会話を求める外国の方も多し。また、直接他言語を耳にするほうが習得が早いというデータもある。



お互いを



【解決策②】やさしい日本語

優しい日本語のポイント

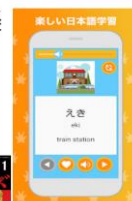
- ①短い文章で
- ②ゆっくりと
- ③簡単でわかりやすい表現を
- ④絵やジェスチャーを使って
- ⑤相手の目を見て話します



【解決策③】

日本語に興味を持ってもらう。共通の好きを見つける。

日本の音楽



・日本語教室



・日本語勉強アプリ

・日本のアニメ